

科目名	音楽科指導法		
担当教員	久保 紘子		
授業コード	711-1	単位数	2
授業の概要	小学校教育において「音楽」はどのように実践されるのが望ましいのか。小学校学習指導要領に基づき基本概念と実践論を展開する。実践論位においては教材・方法、技術・教師の各論点から展開し「音楽」の本質を踏まえ多角的に学修する。授業に限らず実施される「音楽」を得手不得手によらず誰でもが積極的に担当できるように科目担当者の実務経験を活かし理論と実践を学ぶ。		
スクーリングレポート課題	「私と音楽」 これまでの自分にとっての音楽について。内容自由。		
提出要領	様式（縦書きor横書き）	横書き	8/7(月) 8:45までにTeams内「課題」より提出
	字数	1500字程度	
ワープロ使用可・不可	可		
到達目標	実践を踏まえ知識として知っておくべき事柄を認識し、且つどのように運用されるかを見極める。目標を理解、習得し更に応用力を身につける。教材の実践位必要なスキルアップの方向性を明らかにする。		
授業計画			
時数	テーマ	内容	授業を受けるにあたって
1	「音楽」とは何か。本質を考える。	ガイダンス 自身や他者の音楽との関わりについて考え、音楽の本質を探り、子どもへの指導方法について考える。	自身、他者の音楽との関わりについて考える。
2	音楽科とは	学校における音楽教育とは	自身の小学校、中学校での音楽との関わりについて考える。
3	学習指導要領	学習指導要領の解説	学習指導要領を読み、分からない用語を明確にしておく。
4	教材研究・音楽の構造	音楽の構造を理解する。	指定された楽曲を歌えるようにする。
5	教材研究・楽曲分析	楽曲を分析し、作曲者、作詞者の意図を読み取り、児童に何をどのように伝えるのか探る。	指定された楽曲の楽語や歌詞の内容などを調べる。
6	教材研究・共通教材	共通教材を歌唱し、各曲について知る。	共通教材を知る。
7	歌唱	歌唱の指導法の実践	歌唱指導案を熟読する。
8	器楽	器楽の指導法の実践	器楽指導案を熟読する。
9	音楽づくり	音楽づくりの指導法の実践	音楽づくり指導案を熟読する。
10	鑑賞	鑑賞の指導法の実践	鑑賞指導案を熟読する。
11	我が国と諸外国の音楽	我が国と諸外国の音楽について知識を深める。	我が国の音楽、地域の音楽について調べる。

12	指導案の作成	年間授業計画と指導案の作成、評価規準について	教科の指導案と小学校の年間行事のイメージをもっておく。
13	模擬授業①	授業を発表し、話し合う。	グループで指導案を作成する。
14	模擬授業②	授業を発表し、話し合う。	グループで指導案を作成する。
15	総括	模擬授業の振り返りとグループ発表	グループ発表の準備
使用テキスト	『音楽科指導法』（通信教育課程指定テキスト） 玉川学園編『愛吟集』第3版（玉川大学出版部） I S B N : 9784472132032 本体価格1,600円		
受講者が持参する教材	テキスト		
参考文献	教科「音楽」通信教育課程指定 梅沢一彦編 「誰でもすぐ弾けるピアノ伴奏」梅沢一彦編 その他音楽書		
成績評価方法	授業参加度20%、レポート20%、試験60%		
その他受講者への指示/メッセージ	<p>表現科目ですので積極的な参加が求められます。またグループワーク、グループ発表も行います。</p> <p>※スクーリングレポートは〈Teams〉「課題」に提出になります。</p> <p>※授業内でGoogleFormやYoutubeを使用する場合があります。スマートフォンかタブレットを持参してください。ノートPCである必要はありません。お持ちでない場合は、授業初日に申し出てください。</p> <p>※ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカ、カスタネット、タンブリンのいずれかを持っている場合は準備をお願いします。使用日は授業初日に連絡します。授業初日は使用しません。また、わざわざ購入する必要はありません。</p> <p>※『にじ』『大切なもの』『気球に乗ってどこまでも』『旅立ちの日に』小学校共通教材24曲の歌唱を行います。いずれかの曲のピアノ伴奏が弾ける場合は授業で発表することができます。無理に練習する必要はありません。</p> <p>以上</p>		